



安積高校SSH通信

令和元年度第2号

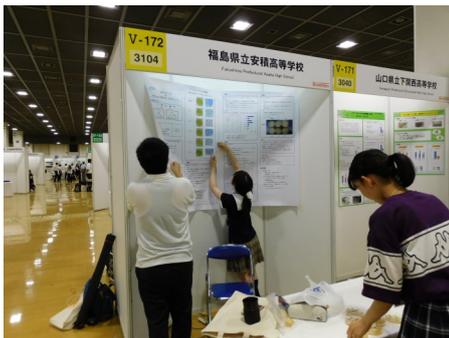
令和元年8月23日発行

SSH生徒研究発表会に参加しました。

8月7日(水)・8日(木)に神戸国際展示場(兵庫県神戸市)で開催されました、SSH生徒研究会に参加しました。これは全国SSH指定校218校、国外10の国と地域から招待された23校が一堂に会して、研究の成果を発表するものです。本校からは生物部の2年生3名が「天然酵母の研究」をテーマにポスター発表を行いました。生徒達はやや緊張しながらも、しっかりと発表を行い、審査員の先生方や来場者からの質問にも的確に答えていました。自分たちの発表を行うだけでなく、他校の優れた研究に触れることもでき、大いに有意義な2日間を過ごしました。この発表会で学んだことを、今後の活動に活かしたいと思います。

<参加生徒の感想から>

- ・準備の段階から自分たちの力になったと思いました。これからどのような研究を進めていくかを考えるよい機会となりました。今回学んだことを、まずは来月の県南支部の発表に活かしていきたいです。
- ・全国のSSH校の研究内容を知ることができて、面白かったです。高いレベルの発表をしていた学校もあり驚きました。様々な学校の人たちと交流する機会もあって、楽しく有意義な2日間でした。
- ・さすがSSHという発表を聴くことができて有意義だったが、自分たちの発表で手一杯で数多くの発表を聴くことができなかつたのがやや残念であった。発表については、はじめは不慣れなことが多く、型どおりにやってしまったところが多かった。もっと練習をして次の機会につなげたい。



SS探究Ⅰ「フィールドワーク」

夏季休業期間中に班ごとにフィールドワークを行いました。これは、各班の研究テーマに基づいて、外部機関や専門家の方にお話を伺うものです。フィールドワーク先の選定、訪問日時の相談、訪問、礼状の作成など、すべての過程を生徒が主体的に進めました。8月21日(水)7校時にクラスごとに報告会を行いました。そこで、班ごとに学んだことをまとめて発表しました。発表者が級友からの鋭い質問に固まってしまう場面も見られましたが、真摯に発表に取り組んでいました。ご指導賜りました各機関の皆様に厚く御礼申し上げます。



<生徒活動報告> 本校公式サイト(<https://asaka-h.fcs.ed.jp>)に詳細と写真を掲載しています。

7 / 14	相双地区被災地研修	希望者33名	NPO法人ハッピーロードネットワークに御協力いただき、東京電力廃炉資料館、富岡町夜ノ森地区、大熊町、浪江町を見学した後、Jヴィレッジで振り返り会を行いました。
7 / 21	放射線測定器の組み立て・計測実習	希望者16名	Safecastのスタッフのご指導のもと、放射線測定器を作成し、放射線測定の実習を行いました。
7 / 24~26	福島復興と放射線についての授業	希望者50名	放射線の基礎、放射線の実験、福島の実況、福島の課題、福島の努力の5つのテーマについて、本校の物理担当教員が授業を行いました。
7 / 27~29	全国高等学校総合文化祭自然科学部門(生物)	生物部3名	昨年度の県大会で最優秀賞に輝き、佐賀大学で開催された全国大会で「ワイルドイーストの探査」というテーマで発表を行いました。
8 / 1~6	2019国際放射線防護ワークショップ	希望者9名	本校が主管となって、県内外、フランスの高校生あわせて29名が参加しました。被災地の現状と課題を学び、東京にて風評払拭のためにポスター発表を行いました。



富岡町夜ノ森地区



大熊町役場



放射線測定器の組立



放射線についての授業



全国高等学校総合文化祭



国際放射線防護ワークショップ

<教員研修報告>

6 / 21	ディープアクティブラーニング研修	産業能率大学教授の小林昭文先生を講師にお迎えして実施しました。本校教員および小林先生の授業を見学し、研修会を行いました。
--------	------------------	--

<年内の予定>

9 / 7	校内報告会	希望者	相双地区研修、国際放射線防護フォーラム、イギリス研修の報告会を行います。
10 / 24	校外研修	1年生全員	バスで移動し、近隣の施設で研修の予定です。
12月	SSクラス国内研修	1年SSクラス志望者約20名	国内のSSH校に赴き交流を通して見識を深めます。